

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪地域の文化・自然を伝えるための資料の作成、普及事業
事業主体 (連絡先)	スワンプロジェクト 岡谷市東銀座 2-13-28 株式会社 宮坂製糸所内
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	773,852 円 (うち支援金: 489,000 円)

事業内容

当プロジェクトは、平成28年の御柱の年に小学校の読み聞かせボランティアや図書館司書が、子供たちに地域の文化を分かりやすく伝える紙芝居を作成しよう、というところから始まった。子ども向けの資料が少なく、また現在の少子化を目の当たりにして、子供たち(文化の担い手)に地域の文化をどう受け渡していくのが課題と考えている。

今年度は紙芝居『手なが足なが』『高島城と殿さま』を作成した。また、諏訪市図書館、セラ真澄にて「諏訪のいま むかしおはなし会」を開催。「信濃こどもの本と読書の集い」、諏訪市公民館講座にも講師として参加し、幅広く諏訪地域を知ってもらおう活動を行った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①③手長足長神社宮坂宮司、諏訪市博物館学芸員などに取材を行い、紙芝居「手なが足なが」160部、「高島城と殿さま」200部作成。画家さんとも協力して、極力分かりやすくクオリティの高い作品が完成した。
- ②「諏訪のいま・むかしお話会」などを諏訪市図書館、セラ真澄、諏訪市公民館などで開催。のべ160名の参加を得た。
- ④諏訪・岡谷市、原村の小・中学校図書館や諏訪の6市町村図書館へ紙芝居を納入。学校図書館司書さんや地域のボランティアさんへ活用を呼びかけた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も諏訪地域の文化(八ヶ岳、街道など)を取り上げ、分かりやすい地域資料を作成し諏訪地域を1巡したい。諏訪地域の皆さんに、紙芝居のシリーズをを一回りすることで諏訪地域全体を知って頂けるようにできたらと考えている。紙芝居の普及方法として、通常のお話会だけでなく、地域の他の団体へのお話会などを行うことも考えていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【『手なが足なが』紙芝居】

【目標・ねらい】

- ①紙芝居『手なが足なが』作成
- ②「諏訪の今・むかしお話会」開催
- ③紙芝居『高島城と殿さま』作成
- ④地域への普及

※自己評価【 A 】

【理由】

専門家の知識を得ながらできるだけ正確、かつ分かりやすい紙芝居を作成できた。お話会の参加人数も増え、地域への普及にも尽力した。